

災害にも強い多文化共生地域づくり事業

【ホームページ】 <http://tsutamaru.or.jp>
【ブログ】 http://blog.canpan.info/tsutamaru/category_5/

NPO法人伊賀の伝丸
平成25年1月 報告

1月20日（日）小田町防災ワークショップ開催

小田町公民館にて防災ワークショップ「空き缶でコンロ&防災ビンゴ」を開催しました。外国人参加者を集めるのは大変でしたが、当日はブラジル人21人、ペルー人3人、中国人3人、アルゼンチン人1人、不明1人の計29人（子供含む）の参加がありました。また日本人参加者は約20人で、スタッフも含めると60人近くになり、部屋がとてもせまく感じました。

今回のワークショップでは、①自分の居住地区の避難場所の確認 ②空き缶でコンロ作りと簡単ランプ作り ③防災グッズビンゴ をしました。内容が盛りだくさんの1時間半になりました。

①自分たちの居住地区の避難場所の確認（※小田町防災マップを使って）

日本人と外国人と一緒に作業できるよう各グループ席を配置し、話し合いながらマップを使って避難場所の確認をしました。日本人は外国人へ、「あなたの住んでいるところはここやから、避難所は〇〇やで」という説明や、「ここら辺は大雨が出た時に危険やから〇〇の方へ逃げた方がいいで」などのアドバイスをしていました。

※小田町防災マップ

小田町で作成された避難所の場所が記載された地図。日本語とポルトガル語で作成されている。



②空き缶でコンロ作りと簡単ランプ作り

家にあるもので作れる！という手軽、そして作り方も簡単なコンロなので、グループで協力して約15分で1つコンロを作成しました。災害時に役立つということで、多言語に翻訳された説明書を読み、参加者同士教え合いながら真剣に取り組んでいました。ワークショップ終了間際には、空き缶コンロの上のやかんの水もしっかり沸騰して、本当に湧くのだと皆さん実感していました。



③防災グッズビンゴ

非常時に持ち出すもの（防災グッズ）を考えてマスに書き、あらかじめ準備してあった防災グッズカードをひき、ビンゴをしました。参加者は話し合って非常時を想像しながら、「着替え」「お金」等色々なものを書いていました。

今回は参加者に外国人がいたので、「パスポート」「外国人登録」のコピー等、日本在住の外国人ならではの意見も出て、日本人にとって外国人には何が必要なのかを知るいい機会にもなりました。



今回のワークショップでは、想定していたよりもたくさんの外国人参加者が集まり、近所に住む日本人と外国人と同じグループで、普段できないような「避難」や「防災」についての話がありました。またビンゴでも盛り上がり、参加者同士コミュニケーションをとるいい機会になりました。当日の様子に関しては伝丸のブログにもアップしています。是非ごらんください！！ <http://blog.canpan.info/tsutamaru/archive/33>



今後の予定

2月3日（日）OTAともだちの会主催「巻きすしを作ろう！！」開催